



# Mother Lake Goals

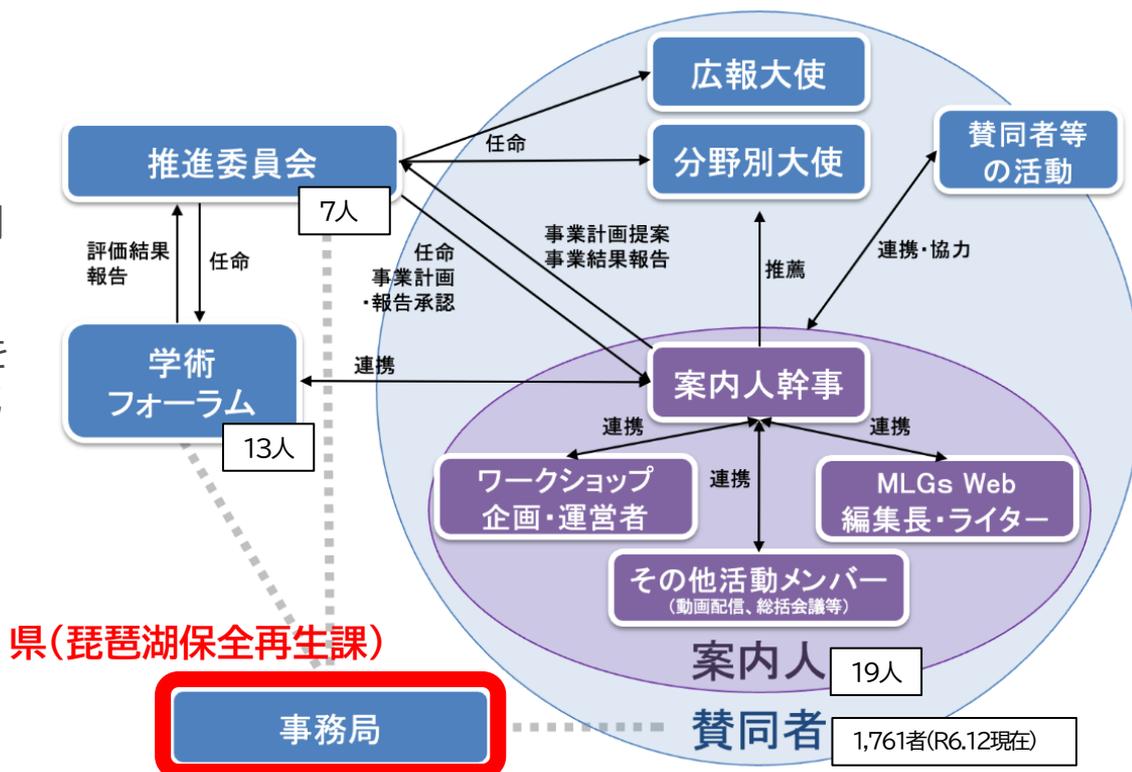
変えよう、あなたと私から

## マザーレイクゴールズ(MLGs)の 更なる浸透に向けた取組について

## マザーレイクゴールズ(MLGs)の推進体制

- マザーレイクゴールズ(MLGs)アジェンダに基づき、MLGsの推進に向けた組織である「マザーレイクゴールズ推進委員会」を設置。その運営については、当分の間、県(琵琶湖保全再生課)が担う。
- マザーレイクゴールズ推進委員会は、活動間の対話と情報共有を豊かにする役割を担う「案内人」および学術的知見に基づき琵琶湖とそれを取り巻く暮らしに係る指標をチェックする「学術委員」を任命

- マザーレイクゴールズ推進委員会は、審議・重要事項にかかる意思決定機関
- 学術委員から成る「学術フォーラム」を設置し、毎年MLGs評価報告書を作成
- 案内人の中から案内人幹事を選出し、案内人によるワークショップ等の事業の企画・取組を総括する執行機関として、「案内人幹事会」を設置



○賛同者数 **1,761者**(令和6年12月末現在)

○講演回数 **204回**(R3年度:36回 R4年度:53回 R5年度:70回 R6年12月末:45回)

○ロゴマーク等の活用

- 著作権は滋賀県が保有

- 使用の手続き

- ✓ マザーレイクゴールズ(MLGs)ロゴマーク利用取扱要領により運用
- ✓ 賛同者は、MLGsの推進および情報発信のため、普及啓発、資金調達、商業利用等を目的として届け出た上でロゴマークを利用することが可能

- ロゴマーク利用届出数

**336者**(令和6年12月末現在)

○認知度 25.0% (令和6年度実施 第57回滋賀県政世論調査)



Mother Lake  
Goals

変えよう、あなたと私から

## ○ ロゴマークの利用例



近江鉄道 車両ラッピング  
(令和6年8月5日～9月5日)



(株)読売テレビ  
鳥人間コンテストスタッフTシャツ



大和証券  
JR草津駅デジタルサイネージ



ボートレースびわこ  
プロモーションムービー

## ○ワークショップ等の実施

No.	事業名称	開催日	参加者数
* 1	西浅井田植え体験	4月28日	42
* 2	平和堂&サントリー ごみ拾いイベント	5月18日	200
* 3	西浅井田植え&大浦川魚つかみ体験	6月2日	36
4	びわ湖とプラスチックごみ問題について考えるMLGs協働テーブル	6月27日	21
* 5	びわ湖の日「環境イベント」	6月29日	100
* 6	「自転車」でびわ湖を美しくする運動	7月5日	10
* 7	近江淡水生物研究所びわ湖の日イベント	7月7日	30
* 8	官民協働ワークショップ「誰もがMLGsの取り組みを知り・参	7月25日	24
9	プラごみ協働テーブル プラごみ調査隊【大津会場】	8月6日	91
10	プラごみ協働テーブル プラごみ調査隊【近江八幡会場】	8月20日	60
* 11	びわ湖×アクティビティ MLGsワークショップ Day1	9月5日	12
12	MLGsみんなのBIWAKO会議/COP3	9月6日	113
13	プラごみ協働テーブル プラごみ調査隊【彦根会場】	9月7日	41
* 14	びわ湖×アクティビティ MLGsワークショップ Day2	9月9日	12
* 15	びわ湖×アクティビティ MLGsワークショップ Day3	9月12日	12
* 16	えきまちテラス長浜小さな音楽会	9月14日	30
* 17	グローバルユースワークショップ	9月25日	25
18	第4回ヨシフェス	10月26日	100
* 19	マザーレイククルーズ2024	11月1日	200
* 20	大阪・関西万博イベント 滋賀ミライEXPO	11月2日	150
21	アーティストインレジデンス	11月3日	10
* 22	びわ博フェス2024	11月17日	60
23	淡海の川づくりフォーラム	12月1日	100
24	近畿大学連携ワークショップ「MLGsを学んでサンタさんを助けよう！」	12月8日	30
* 25	SL2 フォーラム「捨てない未来とサーキュラーエコノミー」	12月15日	45

\* 共催・参加事業

## 主催・共催等事業

令和6年度12月末現在 **127事業**  
参加者数 **8,571人**

令和3年度 35事業 1,340人

令和4年度 47事業 2,792人

令和5年度 32事業 2,885人

令和6年度 25事業 1,554人(12月末時点)



## ○ MLGsをテーマとした環境学習（小・中・高）

### 【令和6年度】

- 6/6 奈良県一条高校附属中学校(2年生)
- 6/20 東近江市立能登川南小学校(5年生)
- 8/30 奈良学園中学校(1年生)
- 10/9 広島県福山市立中央中学(2年生)
- 10/24 草津市立松原中学校講演(3年生)
- 11/28 滋賀大学附属小学校(5年生)
- 12/18 光泉カトリック中学校(1年生)

奈良県一条高校附属中学校



草津市立松原中学校



光泉カトリック中学校



広島県福山市立中央中学



## ○ イベント等への参加、様々な主体・媒体とのコラボ

### 県庁内でのコラボ

- ・ ビワイチの日 記念ライドでMLGs体操



- ・ 『健康しが』との協働



12/23 健康しが共創会議

- ・ OSAKA KANSAI SDGs Forum (大阪)



- ・ エコプロ2024SDGs EXPO での出展 (東京)



## ○ イベント等への参加、様々な主体・媒体とのコラボ(令和6年度)

### 戦略的なメディア発信

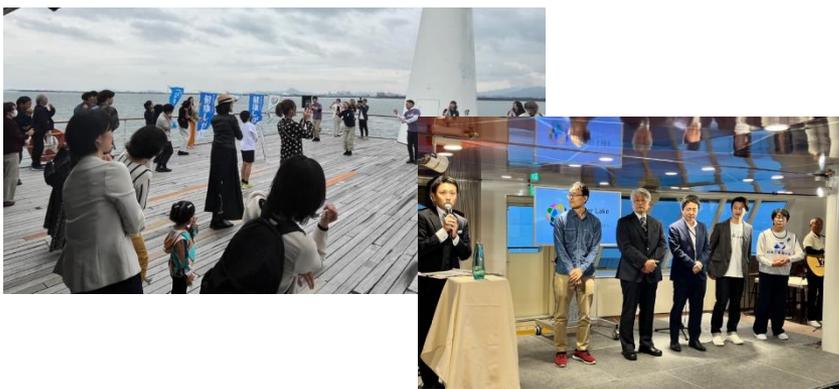
#### ◆ YouTube番組「びわモニ」にて月1回『MLGs Day』として関連情報を発信

- ・番組制作のために、MLGsに関わる団体や取組等の情報を収集
- ・それらの関係者へ、番組への出演を通じて、つながりを構築



#### ◆ 11/1 マザーレイククルーズ2024

- ・「MLGsつながる交流会」を開催
- ・ユニークな取組を行う団体が取組発表  
→ 「みんなのMLGs大賞」の選定



#### ◆ 1/1 びわ湖放送 新春特番 「新年あけましてマザーレイクゴールズ！」

- ・ MLGsの活動をプレイバックしつつ、MLGsの未来を考える。



## ○ MLGsの広がり

### 案内人の広がり

- MLGsを伝え、広める役割を担う「MLGs案内人」が年々増加  
( R3:6人 → R6 19人)
- MLGsに賛同し、より主体的に関わり、広げていこうとMLGs推進の『核』として活動いただく方が増加していることは、**県内におけるMLGsの浸透の結果**であり、**更なる広がり**の兆し。
- MLGs案内人とともにMLGsをより多くの方に広め、深めるワークショップを企画していく。

※ 「MLGs案内人」とは：

- 人々が行動をはじめたり、誰かとつながりあったりするためのきっかけを与える「人」
- 県内各地において、地域を対象に様々な取組を主体的に実践している方に就任いただき、MLGsワークショップの企画等を実施

### マザーレイクゴールズ案内人

敬称略、五十音順

氏名	所属・肩書	幹事	備考
石河 康久	滋賀県商工会連合会 専務理事 元：滋賀県琵琶湖環境部 部長		
一伊達 哲	淡海の川づくりフォーラム実行委員会 実行委員長代理		
上田 隼也	一般社団法人インパクトラボ 代表理事		
大塚 佐緒里	びわ湖の恵みを守る食育/ワークショップ講師		
北井 香	特定非営利活動法人まちづくりスポット大津 マネージャー 淡海の川づくりフォーラム実行委員会 実行委員長	○	
桐畑 孝佑	滋賀県化学・環境行政職員同友会		
駒井 健也	志賀町漁業協同組合 フィッシャーアーキテクト 代表		
佐藤 祐一	滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 専門研究員	○	代表
鈴木 英理子	ダンサー / 振付家		
田口 真太郎	成安造形大学		
中井 健太	andstep CEO	○	
根木山 恒平	特定非営利活動法人碧いびわ湖 常務理事		
畠 麻理奈	立命館大学 一般社団法人インパクトラボ		
松元 悠	美術家・版画家 京都市立芸術大学非常勤講師		
南村 多津恵	くうのるくらすの創造舎		
宮尾 陽介	まるやまの自然と文化を守る会		
三和 伸彦	滋賀県 理事員	○	
向田 直人	特定非営利活動法人近江淡水生物研究所 代表		
村上 悟	特定非営利活動法人碧いびわ湖 代表理事	○	

## ○ MLGsの多様な主体への浸透

### 民間団体・媒体でのMLGsの導入

- ・ 滋賀経済同友会にて「MLGsと私たち」研究会を年間通じて実施

滋賀経済同友会「MLGsと私たち」部会  
「世界湖沼デー」  
キックオフシンポジウム

2024年8月27日  
部会長：小玉 副代表幹事  
副部会長：児島副代表幹事、高橋副代表幹事、中島副代表幹事、西村常任幹事



- ・ 3150 FIGHTでのプロモーション (滋賀ダイハツアリーナ) (7月28日)



- ・ 鳥人間コンテスト (彦根市・琵琶湖) (7月27、28日)



- ・ 滋賀ミライE X P Oでの滋賀コンテンツ (びわ湖ホール大ホール 11月2日)



## ○ MLGsの多様な主体への浸透

### MLGs×生涯学習

- 24時間フィットネスジム「エニタイムフィットネス」を経営する(株)Fast Fitness Japanが滋賀県との包括連携協定に基づき、MLGs体操の普及啓発を展開
- 滋賀県学習情報提供システム「におねっと」の登録出前講座としてMLGs体操を実践

### MLGs×健康

- 健康しが共創参画団体である一般社団法人「ラジーン」が展開するde愛ひろばラジオ体操会において、毎週土日祝に実施しているラジオ体操と併せてMLGs体操を実施（令和6年1月～2月）
- 地域に根差した活動にMLGsが浸透



#### 地域で学ぼう「出前講座」

更新日：2023年6月10日

発起団体または実施団体	株式会社 Fast Fitness Japan
講座名	MLGs体操で代謝をあげて、空調に頼らない体づくりをしよう！
対象者	市町、公民館、自治会、PTA、子ども会
概要	滋賀県で取り組む「MLGs体操プロジェクト」に参加し、「MLGs体操」の普及に努めることにより、子どもたちの健康に貢献いたします。
講師謝金・旅費・材料費等	謝金：不要 旅費：不要
問い合わせ・申し込み先	各登録団体のため、しが生涯学習スクエアまでお問い合わせください。 電話：077-528-4651
組織・業種別	企業
分野	健康



滋賀県におけるエコツーリズムとは「体験や体感により琵琶湖やそれを取り巻く自然環境・生活文化と触れ合うことで、琵琶湖や環境に関してより深く知ってもらい、琵琶湖や自然の大切さを感じることが出来る活動」であり、地域活性化や観光振興につながるエコツーリズムの推進を行ってきた。

## 項目

## これまでの取組例

## 今後の取組

### エコツーリズムの情報発信



- ホームページ、SNS、パンフレットによる情報発信
- エコツーリズム人材育成講座による人材育成
- 県内関係団体への情報提供
- 世界湖沼会議や世界水フォーラムなどにおける外国語情報の発信
- MLGsツーリズム学習BOOKの作成・配布

- MLGsと方向性を同じくする、多様な主体と連携したエコツーリズムの推進(シガリズム観光振興ビジョンにおける「シガリズムが大切にする3つのこと」の一つがMLGs)



### サイエンスエコツアー

(学術研究の成果も含めてより深く学びを得るエコツアー)

- 琵琶湖環境科学研究センターや国立環境研究所 琵琶湖分室などの学術研究の成果を活用したエコツアーのプログラム開発とガイド育成



- インバウンドに対応したツアープログラムの試行・開発と支援策の作成

### 巨樹・巨木の森保全活用

- 巨樹・巨木を活用したエコツアーのモデル実施
- 巨樹・巨木や地域の生活文化に関する調査

- エコツーリズムの推進に不可欠な運営組織の強化や人材育成
- 巨樹・巨木と地域の生活文化を活かしたエコツアーの実施

MLGsは多くの多様な主体が、自発的、主体的な取組を通じてSDGsと一人一人の取組との間に置くゴールであり、それぞれの活動が、全体としてみると、あたかも一つの生態系のように、緩やかなつながりの基で成り立っている状態を望ましい姿としている（MLGsアジェンダより要約）。

- 引き続き環境に意識の高い方々への普及や行動変容につながる取組を進めるとともに、これまでにMLGsと接点のなかった一般の方々への普及を図る。
- 庁内各部署、企業・団体、MLGs案内人などと連携してMLGsの普及を図る。
- 令和7年度は関西・大阪万博や国スポ・障スポなどの機会も活用しながらMLGsを発信する。

## 方向性

### 1 これまで接点のなかった方々への普及

## 充実・強化を図る取組例

- 「びわ湖の日」との連携
  - ・「びわ湖の日」ロゴマークにMLGsロゴを活用
  - ・「びわ湖の日」啓発イベントでの連携
  - ・「琵琶湖ハンドブック」およびその概要版でMLGsを発信
- 「ビワイチの日」との連携（例：イベントにおけるMLGs体操の実施など）
- MLGsを活用した観光振興（シガリズム観光振興ビジョンにおける「シガリズムが大切にすること」の一つがMLGs）
- 環境に配慮した国スポ障スポ大会の実施（国スポ障スポ実行委員会によるMLGs宣言R5.07.28）
- 企業・団体との連携（例：MLGsをテーマとする商品やイベントなど）
- SNSなどを活用した不特定多数への普及（例：ウェブサイト、TV番組、YouTubeチャンネルなど）

7月1日  
びわ湖の日



## 方向性

### 2 環境に意識の高い方々への普及や更なる行動変容の促進

## 充実・強化を図る取組例

- MLGs案内人とともに、MLGsを知っていただく機会を増やすとともに、すでにMLGsを知り関心を持っている方々へのMLGsの理解を深め、さらなる行動変容の機会を創出(例:ワークショップ、イベントなど)
- 庁内他部局の事業との連携(例:世界農業遺産など)
- 水環境ビジネスの展開 (MLGsに向けたビワコプロダクツプロジェクトなど)
- 他の企業・団体と連携し、県内の清掃活動やイベントを通じたMLGsの普及(例:しがプラチャレンジの日(毎月1日)、環境美化の日(7月1日)、世界湖沼の日(8月27日)など)



### 3 教育現場への普及

- 教育委員会等と連携した小中高校への普及(例:出前講座、MLGs学習動画の活用、「うみのこ」向け教材など)



### 4 海外への普及

- 海外との交流の機会を捉えたMLGsの普及(世界水フォーラム、世界湖沼会議、姉妹友好州省との交流など)

